

うちのまがいひ  
「宇智の磨崖碑」



きざまれた  
歴史の言霊  
宇智の磨崖碑

# <宇智の磨崖碑とは>

うちがわまがいひ

正式には「宇智川磨崖碑」といい、宇智川磨崖碑は五條東中学校の近くにあります。

崖の岩などの表面を整え、文字が刻まれたものを「磨崖」といいます。



この磨崖は奈良時代に刻まれたとされる大変貴重なものです。

掘った人は不明ですが、この近くの栄山寺というお寺に関わりのあるお坊さんが掘ったのではないかと言われています。ただし、長い間風化が続き、文字はほとんど読めなくなっていて、消滅の心配もされています。



## <下に流れる川>

階段をくだった下に流れる川は「宇智川」といい、小和町から吉野川までが宇智川です。左側にある岩や木々の自然に最初はびっくりすると思います。

中央公園の下の川も宇智川だったそうです。

# <読み札との関係>

「きざまれた

歴史の言霊

宇智の磨崖碑」

「歴史の言霊」とは、磨崖に刻まれてある文字のことです。奈良時代に刻まれたとされる文字なので、読み札には「歴史の言霊」と書かれています。

## 現地レポート

### <感想>

宇智川磨崖碑は奈良時代に刻まれた貴重なものとは知らなかったなので、驚きました。前の夏に友達と何も知らないまま、川遊びに行ったことがあった場所なので新しい発見ができました。五條市のことがカルタで表されているので、遊びと一緒に学べるのでいいなと思いました。

作成者 A.H.